

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード	34432
成日	平成24年5月25日
予算科目	国保8.2.1.1.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第3部 健康でゆとりとふれあいのまちづくり	章	第4章 ふれあいとささえあいのある社会福祉の充実
節	第4節 生活の安定と社会保障の充実	基本施策	3 国民健康保険制度の充実
取組みの基本方向		(2)特定健康診査と人間ドックの受診率の向上につとめます。	
根拠法令等			
目 的 (誰・何を対象に、何のために)		国保加入者を対象として、健康意識の高まりに応えるとともに、各種疾病の早期発見・早期治療に資することにより、健康長寿社会の実現と医療費抑制を推進する。	
内容・方法 (何を行っているのか)		40・45・50・55・60・65・70歳の被保険者のうち、町で指定する医療機関で人間ドックを受診した方に2万円を上限として助成する。	

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『生活安定と社会保障の充実』について「満足」と感じる住民の割合(%)		23.6		34.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	人間ドック受検者数(人)	増	事業の目的達成度を確認するため、受検者数を設定する。	計画値		240	225	225
				実績値	180	180	215	
				達成度※自動計算		75.0	95.6	
活動指標				計画値				
				実績値				
				達成度※自動計算		計測不能	計測不能	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度			基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)			3,711,825	3,711,825	4,364,890	4,505,000
(B)概算職員数(人)			0.300	0.300	0.300	0.300
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			2,490,000	2,490,000	2,490,000	2,490,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算			6,201,825	6,201,825	6,854,890	6,995,000
単位当たりコスト※自動計算			34,454.6	34,454.6	31,883.2	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源※自動計算		6,201,825	6,201,825	6,854,890	6,995,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準		判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性	直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高 低	B
	必需性	当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している		×	B
	基準年度と比較して成果が向上している		○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い 費用が増加し、成果も低下している		向上 成果 率 119.44%	B
			縮減 費用 率 110.53%	
総合評価			改善すべき点がある	

5. 特記事項

--

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
理由	毎年対象者は異なるが、受診を希望する被保険者は増加傾向にあるため。		
今後の方向性	本事業は、平成20年度の特健診導入時に存廃を協議したが、同一医師会に属する厚木市・清川村が継続実施することや、健康指向の高まりなどを背景に継続することとし、それ以降、対象年齢を拡大するなど制度を充実してきたものである。こうしたことから、当面は事業を継続していきたい。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等	ただし、特定健診の受診率を高めるよう取り組む必要があることから、当面は対象の拡大は行わない。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等	各種健診事業を実施している担当課との連携を密にし、重複する健診をなくすなど、広く周知を図り受診率を高めていく必要がある。		

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

本事業は、国民健康保険の被保険者のみを対象に実施しているものであるが、他部署との連携を密にするとともに、より一層周知に努め、受診率の向上を図る。
--

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、受診率の向上等に努めるものとする。		